令和7年度第2次飯塚市男女共同参画後期プラン進捗状況調査票【管理指標】

No.	(1)第2次飯塚市男女共同参画後期プラン進捗管理									課名
	管理指標	現状値（R2年度）	R4年度	R5年度	R6年度	①R7年度	目標値（R8年度）	②R7年度中に目標達成のために行った取組	③R8年度の取組	
1	「男は仕事、女は家庭」という考え方（固定的な性別役割分担意識）について「そう思わない」市民の割合	65.4%	-	-	-	72.5%	75.0%	各種講座や市主催イベント等で家事・育児シェアシートを配布し、家事、育児は家族間で協力して行うよう啓発した	引き続き各種講座や市主催イベント等で家事・育児シェアシートを配布するとともに、シート活用促進のチラシを配布し、家族間での育児・家事協力の啓発を強化する。	男女共同参画推進課
2	男女共同参画に関心が「ある」市民の割合	53.0%	-	-	-	52.6%	65.0%	男女共同参画への理解を深めるため出前講座を実施した。また、男女共同参画をテーマにしたパネル・ポスターを交流センター等に配架し、市民への啓発を行った。	出前講座、主催講座、共催講座で男女共同参画への意識を高めていく。	男女共同参画推進課
3	「飯塚市男女共同参画プラン」について、少なくとも見たり聞いたりしたことがある市民の割合	7.5%	-	-	-	16.5%	50.0%	出前講座等でプランのPRを行った。 また、第2次飯塚市男女共同参画後期プランの進捗状況についてHPで公開し、取組の内容等についての質疑等についても男女共同参画推進委員会の会議録及び資料として公開した。飯塚市男女共同参画推進委員会からは、令和7年度提言書を市長へ提出し更なる取組の強化を提言した。	引き続き出前講座や各種講座でプランのPRを行っていく。	男女共同参画推進課
4	学校教育の場で男女の地位が「平等になっている」と思う市民の割合	48.8%	-	-	-	44.5%	70.0%	飯塚市が作成・配布している「男女共同参画の視点からのガイドライン」及び「共に生きる」を活用した研修会を各学校おいて実施し、男女共同参画教育を推進する教職員の理解を図ると共に、性別による固定的な役割分担意識の解消を図る児童生徒を対象にした学習内容・方法についても校内研修などを実施した。	飯塚市が「男女共同参画の視点からのガイドライン」及び「共に生きる」を活用した校内研修等の充実を図り、教職員の理解と児童生徒のより一層の理解を図る。また、学校から発信する情報について、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現を行い、男女共同参画意識を高めていく。	学校教育課（男女共同参画推進課にて調査）
5	男女共同参画推進センター「サンクス」を知っている市民の割合	13.7%	-	-	-	24.2%	50.0%	出前講座等でサンクスのPRを行った。また「サンクスフォーラム」をサンクスに近隣するコスモスコモンで開催したり、相談事業にも「サンクス相談」というように名称に用いるなど、サンクスの名前が市民に浸透するよう努めた。 ※R7調査ではR2調査の「知っている」「知らない」に加え「見たり聞いたりしたことがある」を回答項目として追加しているため、今回の「知っている市民の割合」には「知っている」「見たり聞いたりしたことがある」を含めている。	引き続き出前講座や各種講座でサンクスのPRを行っていくとともに、サンクスの愛称を事業名等に用いていくことで知名度の向上を図る。	男女共同参画推進課
6	男女共同参画推進センター「サンクス」で実施されている男女共同参画を推進するための各種講座に参加したことがある市民の割合	3.4%	-	-	-	6.2%	12.0%	市報、SNS、HPを活用し広報を行った。 ※R7調査では「サンクス」を知っている市民のなかで受講経験を尋ねているため、進捗管理において、「サンクスを知っている市民の割合（24.2%）」に「サンクスを知っていてサンクス講座を受講したことがある割合（25.7%）」を乗じ6.2%としている。	引き続き市報、SNS、HPを活用し広報を行っていく。また、男女共同参画と他のテーマと絡めた講座（男性の家事スキル向上講座等）などを実施し講座受講への心理的ハードルを下げ、より幅広い層に男女共同参画について興味を持ってもらえるよう工夫して講座を企画していく。	男女共同参画推進課
7	市の目標審議会等の女性委員の割合（うち地方自治法202条の3に基づく審議会等）	33.6%	36.1% （35.0%）	36.5% （35.6%）	38.0% （37.8%）	38.3% （38.7%）	40～60%	登用率が40%未満となっている審議会の所管課と、委員推薦依頼の方法や女性人材バンクの活用など女性委員登用率向上策について面談を行い協議した。	審議会委員等の改選の際には、関係団体等へ推薦依頼を行う前に女性委員の登用率を予測し、目標値に至らない審議会等の担当課との面談を実施し、早い段階から向上策について検討していく。	男女共同参画推進課

令和7年度第2次飯塚市男女共同参画後期プラン進捗状況調査票【管理指標】

No.	(1)第2次飯塚市男女共同参画後期プラン進捗管理									課名
	管理指標	現状値（R2年度）	R4年度	R5年度	R6年度	①R7年度	目標値（R8年度）	②R7年度中に目標達成のために行った取組	③R8年度の取組	
8	市職員の女性の管理職の地位に占める割合 （特定事業主行動計画に基づく目標）	課長以上 9.3% 課長補佐 26.3% （係長 37.0%）	10.4% 31.7% （33.5%）	10.3% 36.9% （32.5%）	11.3% 37.9% （32.7%）	15.2% 36.4% （30.7%）	課長以上 20% 課長補佐 30% （係長 40%）	キャリアデザイン研修を開催し、キャリア形成への意識付けを行った。	キャリアデザイン研修を開催し、キャリア形成への意識付けを行う。	人事課
9	まちづくり協議会の女性役員の割合が20%未満の地区数	6か所	6か所	5か所	6か所	5か所	4か所	まちづくり協議会代表者連絡会議や各地区役員会等の場において、男女共同参画に関する意識向上につながる研修や講座について情報提供を行い、各地区に対して積極的に研修を実施するよう呼びかけた。	まちづくり協議会代表者連絡会議や各地区役員会等の場において、地域活動における女性参画の重要性について周知を行うとともに、市が実施する男女共同参画に関する啓発事業や研修等について情報提供を行い、男女共同参画推進に関心を持ってもらえるよう働きかけを行っていく。	まちづくり推進課
10	女性人材バンクへの登録者数	23人	39人	41人	46人	53人	50人	女性人材バンクの登録申請について、従来の紙による申請用紙の提出のほかに電子申請ができるよう整備した。それに伴いチラシに2次元コードを掲載するほか、HPからもリンクできるようにし、申請者の利便性の向上を図った。また、市報掲載や各事業開催時にチラシを配布し周知を行った。	女性人材バンクの登録者を増やせるよう市報、HPを活用するほか、各事業開催時にチラシを配布し周知を行う。また、新たなチラシの配架場所を検討し周知の幅を広げ、多様な人材の登録に繋がるよう周知していく。	男女共同参画推進課
11	職場での「昇格・昇進」について、男性の方が優遇されていると思う市民の割合	31.0%	-	-	-	24.1%	20%	昨年度に続き、福岡県共催事業として「福岡キャリア・カフェ」in筑豊を市役所2階カフェにて2回開催し、様々なキャリアのロールモデルを招き、参加者との交流をとおして女性活躍推進の意識づくりを推進した。女性消防団や女性自衛官等の意見交換会などを実施し、交流を通じてそれぞれの活動についてのやりがいや悩みなどを共有し活動に対し更なるモチベーション向上に寄与することができた。また、市民向けイクボス研修会を開催しワーク・ライフ・バランスについて啓発を行った。	事業内容を参加者目線で検討し、福岡県と連携する等、効果的に女性活躍推進事業を実施していく。	男女共同参画推進課
12	新規就農者における女性の割合→R8年度目標値では、「新規就農者における累積女性就農者数」に変更	2人	3人	4人	4人	4人	7人	将来的な認定農業者育成の視点で、女性認定農業者育成事業の周知を実施	今後も継続して、将来的な認定農業者育成の視点で、女性認定農業者育成事業の周知を実施	農林振興課
13	市職員の男性の育児休業取得率 （特定事業主行動計画に基づく目標）	9.5%	10.0%	43.5%	53.3%	76.2%	13%	男性職員の育児休業取得促進のマネジメントフローを活用するとともに、監督職向けの研修を実施した。	男性職員の育児休業取得促進のマネジメントフローを活用するとともに、一般職向けの研修を実施する。	人事課
14	市職員の男性の育児参加の為の休暇の取得率 （特定事業主行動計画に基づく目標）	33.3%	30.0%	69.6%	66.7%	57.1%	50%	男性職員の育児休業取得促進のマネジメントフローを活用するとともに、監督職向けの研修を実施した。	男性職員の育児休業取得促進のマネジメントフローを活用するとともに、一般職向けの研修を実施する。	人事課

令和7年度第2次飯塚市男女共同参画後期プラン進捗状況調査票【管理指標】

No.	(1)第2次飯塚市男女共同参画後期プラン進捗管理									課名
	管理指標	現状値（R2年度）	R4年度	R5年度	R6年度	①R7年度	目標値（R8年度）	②R7年度中に目標達成のために行った取組	③R8年度の取組	
15	子育てしやすいまちと評価する人の割合	小学生：47.4% 就学前児童：39.8%	-	34%	-	-	50%	特になし	こども計画に基づく子育て支援施策の推進	こども家庭課 こども若者支援課
16	病児保育年間延べ利用者数	38人	39人	111人	164人	140人	156人	窓口や電話対応、ガイドブックやホームページ等による周知活動を行った。	窓口や電話対応、ガイドブックやホームページ等による周知活動を行う。	保育課
17	一時預かり年間利用者数	2,426人	1,559人	1,961人	2,309人	1,565人	6,000人	窓口や電話対応、ガイドブックやホームページ等による周知活動を行った。	窓口や電話対応、ガイドブックやホームページ等による周知活動を行う。	保育課
18	乳幼児全戸訪問年間訪問割合	91.7%	97.6%	99.0%	100.0%	92%（現時点） ※7月頃確定予定	100%	育児に関する悩みや不安を聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげた。	引続き、家庭訪問を行い育児に関する相談や情報提供を行い支援していく。	こども家庭課
19	地域において認知症に対する正しい理解を促進し、認知症の方を支える地域づくりの一端を担う認知症サポーターの養成数	11,510人	12,309人	13,503人	14,115人	14,775人	16,510人	令和7年度は計27回の認知症サポーター養成講座を開催し、総660名が受講しました。地域住民を対象とした脳元気教室や自治会での講座に加え、小・中学校、短期大学といった教育機関、さらには薬剤師会などの専門職団体等、幅広い層への啓発が進みました。	養成講座の開催回数を拡充するとともに、受講後のサポーターが円滑に活動へ移行できるよう、活動場所（オレンジカフェ等）の整備に係る助成金制度の見直しを実施し、周知啓発に取り組みます。	高齢者支援課
20	家庭における役割分担 「育児、子どものしつけ」について、「ほとんど女性」「どちらかと言えば女性」と回答した市民の割合	60.7%	-	-	-	44.5%	30%	各種講座や市主催イベント等で家事・育児シェアシートを配布し、家事、育児は家族間で協力して行うよう啓発した。介護についてはチラシなど周知媒	引き続き各種講座や市主催イベント等で家事・育児シェアシートを配布するとともに、シート活用促進のチラシを配布し、家族間での育児・家事協力の啓発を強化する。	男女共同参画推進課
21	家庭における役割分担 「病人・高齢者の世話（介護）」について「ほとんど女性」「どちらかと言えば女性」と回答した市民の割合	56.7%	-	-	-	39.3%	30%	各種講座や市主催イベント等で家事・育児シェアシートを配布し、家事、育児は家族間とで協力して行うよう啓発した。また、介護に関するチラシなど周知媒体の作成について、介護保険担当部署と協議した。	介護分野についても出前講座等での啓発を行っていく。また啓発となる周知媒体（チラシ）などの作成を検討する。	男女共同参画推進課
22	地域活動の場で、男女の地位が「平等になっている」と思う市民の割合	27.6%	-	-	-	27.2%	50%	男女共同参画への理解を深めるため出前講座を実施した。	引き続き、地域に向けて出前講座を実施することで、男女共同参画への理解を浸透させる。	男女共同参画推進課

令和7年度第2次飯塚市男女共同参画後期プラン進捗状況調査票【管理指標】

No.	(1)第2次飯塚市男女共同参画後期プラン進捗管理									課名
	管理指標	現状値（R2年度）	R4年度	R5年度	R6年度	①R7年度	目標値（R8年度）	②R7年度中に目標達成のために行った取組	③R8年度の取組	
23	直近1年間に何か地域活動に参加したことがある市民の割合	49.3%	-	-	-	49.8%	60%	まちづくり協議会や自治会等が実施する地域活動について、交流センターだよりやまちづくり協議会広報紙を通じて周知を行い、市民が地域活動の内容を知り、参加しやすい環境づくりに努めた。 また、地域活動の情報発信力向上を図るため、情報管理課と連携し、地域団体事務局を対象としたSNS研修を実施し、Instagram等を活用した情報発信の取組促進を図った。	令和8年度についても、まちづくり協議会や自治会等が実施する地域活動について、交流センターだよりやまちづくり協議会広報紙等を活用した情報発信を継続し、市民が地域活動へ参加しやすい環境づくりに努める。また、地域団体の情報発信力向上を図るため、Instagram等のSNSを活用した情報発信に関する研修を継続して実施し、市民の地域活動への関心向上と参加促進につなげていく。	まちづくり推進課（男女共同参画推進課にて調査）
24	女性消防団員数	31人	28人	26人	25人	28人	38人	各種イベントやSNS等を活用し女性消防団員の加入促進を図った。 また、女性消防操法大会に出場し、女性消防団の認知度アップを図った。	各種イベントに積極的に参加し、女性消防団員の加入促進を図る。 全国ラジオにて女性消防団の活動を周知し、認知度アップを図る。	防災安全課
25	国民健康保険加入者における特定健診受診率	36.9%	38.9%	43.0%	42.5%	39.4% （R8.3.31現在）	60%	・医師会、医療機関への受診勧奨、および各種広報活動 ・委託業者による未受診者へのハガキの送付、および架電による受診勧奨 ・市内交流センター等へのポスター掲示 ・企業訪問・窓口・電話での健診結果提供依頼 ・連合会事業（医療情報収集事業・特定ドック事業等）の活用	・医師会、医療機関への受診勧奨、および各種広報活動 ・委託業者による未受診者へのハガキの送付、および架電による受診勧奨 ・市内交流センター等へのポスター掲示 ・訪問による受診勧奨。 ・企業訪問・窓口・電話での健診結果提供依頼 ・連合会事業（医療情報収集事業・特定ドック事業等）の活用	健幸保健課
26	「交友関係や電話やメールを細かく監視」することが「DVだと思う」市民の割合	男性：66.5% 女性：70.1%	-	-	-	男性：69.0% 女性：76.4%	男性80% 女性80%	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、市報、市公式HPに情報を掲載し、女性に対する暴力の根絶を啓発した。 また、デートDVについて「二十歳を祝う会」のパンフレットへの記事掲載や市立中学校生徒を対象に冊子を配布した。	引き続き、「女性に対する暴力をなくす運動」期間や「二十歳を祝う会」を通じて啓発を行っていく。	男女共同参画推進課
27	「蹴られたり、殴られたり、物を投げつけられたりした」ことがあった市民の割合	男性：4.2% 女性：6.3%	-	-	-	男性：3.3% 女性：5.2%	男性0% 女性0%	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、市報、市公式HPに情報を掲載し、女性に対する暴力の根絶を啓発した。 また、デートDVについて「二十歳を祝う会」のパンフレットへの記事掲載や市立中学校生徒を対象に冊子を配布した。	引き続き、「女性に対する暴力をなくす運動」期間や「二十歳を祝う会」を通じて啓発を行っていく。	男女共同参画推進課